

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年12月17日 (2009.12.17)

【公表番号】特表2009-514951(P2009-514951A)

【公表日】平成21年4月9日 (2009.4.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-014

【出願番号】特願2008-540065(P2008-540065)

【国際特許分類】

C 0 7 C 17/354 (2006.01)

C 0 7 C 19/08 (2006.01)

C 0 7 C 21/18 (2006.01)

C 0 7 C 19/10 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

B 0 1 J 23/44 (2006.01)

B 0 1 J 31/24 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 17/354

C 0 7 C 19/08

C 0 7 C 21/18

C 0 7 C 19/10

C 0 7 B 61/00 3 0 0

B 0 1 J 23/44 Z

B 0 1 J 31/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月27日 (2009.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 1, 3 - ジクロロ - 1, 1, 2, 2, 3 - ペンタフルオロプロパンおよび少なくとも 1 つの他の塩素置換 C 2 - C 4 ハロカーボン化合物を含んでなるハロカーボン混合物を提供する工程; および

(b) 該 1, 3 - ジクロロ - 1, 1, 2, 2, 3 - ペンタフルオロプロパンの相当な部分を還元せずに、該少なくとも 1 つの他の塩素置換 C 2 - C 4 ハロカーボン化合物の少なくとも相当な部分を還元するのに有効な条件下で、該混合物を還元剤と接触させる工程を含んでなる、ハロカーボン混合物を選択的に還元する方法。

【請求項 2】

該少なくとも 1 つの他の塩素置換 C 2 - C 4 ハロカーボン化合物が、少なくとも 1 つの C 3 ヒドロクロフルオロカーボンを含んでなり、かつ、該接触工程において、該少なくとも 1 つの C 3 ヒドロクロフルオロカーボンの少なくとも一部を、 $\text{CF}_3\text{CF}_2\text{CH}_3$ (HFC - 245cb)、 $\text{CF}_3\text{CF}_2\text{CH}_2\text{Cl}$ (HFC - 235ca)、 $\text{CF}_3\text{CF}=\text{CH}_2$ (HFC - 1234yf)、 $\text{CF}_3\text{CF}=\text{CFH}$ (HFC - 1225ye) およびこれらの組み合わせからなる群から選択される化合物に転化する、請求項 1 の方法。

【請求項 3】

(a) 1, 3 - ジクロロ - 1, 1, 2, 2, 3 - ペンタフルオロプロパンを含んでなる

ハロカーボン混合物を提供する工程；および

(b) 該混合物を還元剤と接触させて、少なくとも1つのC3ヒドロフルオロカーボンを製造する工程

を含んでなるC3ヒドロフルオロカーボンの製造方法であって、該還元剤がギ酸アンモニウムである方法。